

設備の高効率化改修支援事業
実施計画書（設備の高効率化改修による省CO2促進事業）

様式を間違えない。

内示に記載のGAJ事業番号を記入する。

事業名		〇〇〇〇空調設備の高効率化改修を行う事業			記入例は青文字となっているが黒文字にて記入する。	
代表事業者	団体概要	団体名	医療法人社団〇〇会			
		法人番号（半角）	1234567890123			国税庁が発行する13桁の法人番号を記入する。
		所在地	〒XXX-XXXX	△△県〇〇市丸の内1-1		都道府県名から記載する。
		主な業務内容	地域医療・介護・保険・福祉		産業分類	831
		事業実施責任者・役職	注) 団体の代表権を付与された者で、申請者と同一であること 理事長 病院 太郎			3桁の日本産業分類コードを記入する。
	事務連絡先	資本金	注) 民間企業の場合のみ			事業実施責任者は様式第1交付申請書の申請者と同一名、同役職名にする。役職は記入漏れのないよう必ず記入する。例えば、代表取締役社長、代表取締役、取締役社長等や院長、理事長等。
		部署				
		役職	事務長			
		氏名	△△ 次郎	フリガナ	×× ジロウ	
		勤務先住所	〒XXX-XXXX	△△県〇〇市丸の内1-1		委任を受けた第三者が交付申請等業務を代行する場合には、この事務連絡先欄に、代行者の会社名、部署、役職、氏名等を記載する。
	電話番号	XX-XXXX-XXXX	FAX番号	XX-XXXX-XXYY		
	E-mail	XXXXXX@XXX.XX.jp				
共同事業者	団体名		事業実施責任者			
	法人番号（半角）	氏名	所属部署・役職	電話番号	E-mail	
事業実施場所等		注) 事業実施場所名を記入する。また、異なる区画・異なる施設で利用している設備を一括申請する場合には、各施設の関連性を記入する。				
区画住所		△△県〇〇私立病院				
施設概要		△△県〇〇市霞ヶ関2-2			都道府県名から記載する。	
対策名称	<名称・主な業務内容>		△△県〇〇私立病院：地域医療・介護・保健・福祉		建物用途区分 08260	
	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>				設備の種類 A01	
	交換	空調ファン用電動機 の交換		「対策の名称」のみを記入する。対策個表・交換の「対策の名称」と同一にする。		
追加	空調台数制御部品の追加		「対策の名称」のみを記入する。対策個表・追加の「対策の名称」と同一にする。			
施設概要		<名称・主な業務内容> 注) 同施設の中で、複数設備の部品交換等を申し込む場合には、必要に応じて行を追加すること。		建物用途区分		
対策名称	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>				設備の種類	
	交換					
	追加					
区画住所		注) 隣接・近隣区画にある異なる施設で利用している設備を一括申請する場合には、必要に応じて行を追加すること。				
施設概要		<名称・主な業務内容>		建物用途区分		
対策名称	<製品名（あるものに限る）及び型番・製品番号等、対象設備が特定できる名称を記入>				設備の種類	
	交換					
	追加					

記入漏れなきよう固有の事業名を必ず記入する。

事業をよく理解し、GAJが容易に連絡が取れる方を指名する。

事業の目的	<p>* 本補助金を申し込むに至った経緯（何故設備自体の入れ替えを選択しなかったか等）を記入する。</p> <p>設備を導入して7年経過し、最新の設備と比較すると性能が低下し、経年劣化もあり電力料金の負担が増加している。設備全体の入替も検討したが予算の関係上困難であると判断した。経年劣化した空調ファン用電動機などの部品交換をする事により、当初の性能以上の効率を確保する事により、効率的に電力使用量の低減を図りたい。更に空調台数制御部品を追加する事により、空調機器運転の台数適正化を図り、効率的に電力使用量の低減を図りたい。</p>		
事業の性格	<p>【事業のモデル・実証的性格】 * 補助事業のモデル性や実証的性格について具体的に記入する。</p> <p>当病院ではこのような事業を行った経験が無いので、低コストでCO2排出量削減を実現できる省エネルギー実証のモデル事業となる。</p> <p>【補助事業の今後の活用・展開の見通し】 * 補助事業が今後の自身の省CO2対策や設備投資計画にどのように活用・展開されることが期待されるか具体的に記入する。</p> <p>本事業を当病院で実施し効果が実証されれば、当病院の他の施設、市内の民間事業所にも水平展開することにより環境へのCO2の排出の抑制に貢献したい。</p>		
事業の効果	【CO2削減効果】	交換および追加の合計のCO2削減量の値を記載する。	
	事業による直接効果 (各対策個票のCO2削減量の合計を記入する。)	20.2	t-CO2/年
	【事業の資金回収・利益の見通し】		
	①補助事業のインシヤルコストのうち自己負担額	3,448,869	円 (*自動計算)
	②補助事業による年間の光熱費の減少額 (各対策個票の減少額の合計を記入する。)	700,000	円
	③ ①の回収見込み年数 (①/②年)	4.9	年 (*自動計算)
	【費用対効果】		
	本事業によるCO2削減量 / 補助基本額	3.2	kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)
本事業によるCO2削減量 / 補助金額	6.3	kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)	
設備全体を更新した場合の総額	65,000,000	円	
本事業によるCO2削減量 / 設備全体を更新した場合の総額	0.3	kg-CO2/1,000円/年 (*自動計算)	
事業の実施体制	<p>* 補助事業の実施体制について、補助事業者内の施行管理や経理等の体制を含め記入する。</p> <p>事業の責任者 X X X X X X X X X 事業担当者 X X X X X X X X X 経理の担当者 X X X X X X X X X</p>		
資金計画	<p>* 補助事業に要する経費を支払うための資金の調達計画及び調達方法を記入する。</p> <p>自己資金にて事業を実施する。</p> <p>【補助対象経費の調達先】 * いずれかに○を付ける。</p> <p>○ ① 補助事業者自身 ② その他</p>		
事業実施スケジュール	<p>* 事業の実施スケジュールを記入する。事業スケジュールは別紙を添付してもよい。</p> <p>9月ごろ着工予定～準備が整い次第施工～11月末工事完了～12月末事業完了</p>		
他の補助金との関係	<p>* 他の国の補助金等への応募状況等を記入する。</p> <p>なし</p>		

様式第1別紙2-1の(1)総事業費ではなく、設備全体を更新した想定額を書く。

交付決定通知後、指定日までに「事業工程表」を提出。(様式あり)

(実施計画書 添付資料)
別添の対策個票に加え、次の3点の資料(複数施設を申請する場合には④(及び⑤))を添付すること。
①建物の登記簿謄本(原本)(発行から3ヶ月以内)
②施設の図面及び竣工日が分かる資料
③施設の外観全体像及び内部が確認できる写真
④1区画内において、各施設の位置関係が分かる地図等
⑤(複数区画にまたがる場合)各区画の位置関係が把握できる地図等

応募申請書と内容が異なる場合は、変更箇所を朱書きとする。
様式第1別紙1-1、様式第1別紙1-1別添、様式第1別紙2-1の書類はカラーで印刷する。文字が途切れないように注意。

【様式第1別紙2-1】設備

GAJ事業番号： 218XXXX

様式を間違えない。

設備の高効率化改修支援事業
(設備の高効率化改修による省CO2促進事業)
経費内訳

内示書に記載のGAJ事業番号を記入する。

	(1) 総事業費	(2) 寄付金その他の収入	(3) 差引額 (1) - (2)	(4) 補助対象経費 支出予定額
所要経費	6,631,869 円	0 円	6,631,869 円	6,367,889 円
	(5) 基準額	(6) 選定額 (4)と(5)を比較して少ない方の額	(7) 補助基本額 (3)と(6)を比較して少ない方の額	(8) 補助金所要額 (7)×補助率
	6,367,889 円	6,367,889 円	6,367,889 円	3,183,000 円

補助対象経費支出予定額内訳

補助対象外経費は含まない。

1,000円未満の端数切り捨て。

経費区分・費目・細分	金額(円)	積算内訳	資料番号
工事費			* 見積書との照合番号
本工事費			見積書中の番号と一致させる。
材料費	1,792,889	金額の算出根拠が明確になるように詳細に記入し、見積書等と対比できるようにする。	
		762,889 ファン用電動機等	<1>
		1,030,000 台数制御部品	<2>
労務費	2,086,000		
		1,985,000 ファン用電動機等の交換	<3>
		101,000 台数制御部品取付	<4>
現場管理費	570,000		
		530,000 ファン用電動機等の交換	<5>
		40,000 台数制御部品取付	<6>
一般管理費	665,000		
		600,000 ファン用電動機等の交換	<7>
		65,000 台数制御部品取付	<8>
測量及び試験費	1,254,000		
		1,107,700 ファン用電動機等の交換	<9>
		146,300 台数制御部品取付	<10>
合計	6,367,889	自動計算	

購入予定の主な財産の内訳(一品、一組又は一式の価格が50万円以上のもの)

名称	仕様	数量	単価(円)	金額(円)	購入予定時期
ファン用電動機等	吊房/暖房能力 590kW	1	4,985,589	4,985,589	H30年11月
台数制御部品	台数制御部品	1	1,382,300	1,382,300	H30年11月

この金額は設備単品の材料費のみでなく、労務費、現場管理費、一般管理費、測量および試験費等を含む金額にする。

注1 本内訳に、積算の根拠を示す見積書または計算書等を添付する。

注2 記入欄が少ない場合は、本様式を引き伸ばして使用する。

応募申請書と内容が異なる場合は、変更箇所を朱書きとする。

様式第1別紙1-1、様式第1別紙1-1別添、様式第1別紙2-1の書類はカラーで印刷する。文字が途切れないように注意。